



あと一步の向上に向けた取組

函館市立北日吉小学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

1 学力向上の具体的な方策

・研究部および各学年ブロックの代表を中心に「学習指導検討委員会」を組織し、子どもの学習状況の把握および改善策の検討等に取り組んだ。学校における児童の望ましい学習態度の育成に向けて、幅広い視野からの検討を重ねることで、学級経営の基盤づくりの重要性に関する共通理解を図った。特に、本年度は児童に対する学習常規の周知徹底を図ることが、望ましい学習態度の育成に加え、基礎・基本の定着を含めた学力向上に向けての第一歩であるという認識に立った取組を行った。

2 取組の概要

・全教職員の共通理解のもと、教師側の押さえとして「学びの約束（学習常規）」の系統表を、低・中・高の各学年ブロックにおける児童の発達の段階に即してカテゴリ分けして作成した。特に、次の6つの観点ごとに分類し、各学年で押さえておくべき最低限の達成事項をめあてや目標の文言として定めた。

- | | | | |
|---------|----------|-------|-------|
| ① 学習の準備 | ② 挨拶や返事 | ③ 書き方 | ④ 聞き方 |
| ⑤ 話し方 | ⑥ 学習中の態度 | | |

上記②～⑤の4つの観点は、新学習指導要領における改訂の主旨の一つとも言える全教育活動を通じた「言語活動の充実」の基盤となるものであると押さえた。

また、上記①，②，⑥の3つの観点については、低・中・高の各学年ブロックごとにめあてを設定し、全学級および特別教室に掲示を行い、児童の意識化を図った。

（例） 高学年用の学習常規（学級掲示用）

< 学習の約束 >

- ◇ 学習の準備は休み時間のうちにしよう。
- ◇ あいさつ・返事は心を込めて、大きな声ではっきりしよう。
- ◇ よい姿勢で学習に集中しよう。

さらに、チャイム席やあいさつ運動、廊下歩行運動など生活委員会との活動とも連携し、生活・学習習慣の形成に共通理解のもとに学校全体で取り組んできた。

3 成果（○）と課題（●）

○ よりよい学習・生活習慣の形成は、「当たり前のことを当たり前にやる」という基本的な発想に基づき、原点に立ち返った指導が肝要であることが確認された。学校生活における基盤固めを行ってきた結果、児童は非常に落ち着いて学校生活に取り組むことができるようになり、学習成果にも向上が見られた。今後とも落ち着いた生活・学習態度こそが、健全な生活・学習習慣の形成及び意欲の向上につながり、様々なプラスへの相乗効果を上げていくことを期待していきたい。

● 学力向上を単独のものとして捉えず、生徒指導の機能を活かして、学校全体で様々な組織が関連・連携し合えるような組織体制づくりが今後の課題となる。